



ピザ釜とピザ作りをしました

親子体験教室「ピザ釜と旬の野菜を使ったピザ作り」を開催しました。

8月3日と8月16日の2日間、「志」ツーリズム協議会による同教室が開催され、計32組の親子が参加し、ピザ作りを楽しみました。

家にある簡単な材料で簡易的なピザ釜を作り、ピザを焼いた参加者は「簡単にピザが出来て驚いた。自宅でも挑戦したい」と話していました。

ボランティアまつり、開催！

ボランティアまつりが開催され、訪れた人は様々なイベントを楽しみました。

8月17日、健康ふれあいプラザで第9回ボランティアまつりが開催され、暑い日差しの中にもかかわらず、多くの人で賑わいました。

このまつりは、市民のボランティアに対する理解と積極的な参加によって思いやりの心・助け合いの心・豊かな心を育むことを目的に開催されています。



トコブシの放流が行われました

新たな水産品の発掘を目的に、トコブシ（貝）約8,000個の放流が行われました。

7月25日、志布志漁協と東亜建設工業が、トコブシ約8,000個を志布志湾に放流しました。

当日は天候にも恵まれ、約2cmほどに成長したトコブシの稚貝をひとつひとつ岩場にはりつけていきました。現在、志布志漁協では、稚貝を放流、育成し、収穫するという試みを行っています。



ビーチバレーで、全国ベスト8！

第5回湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会で、市内の中学生チームがベスト8に入賞しました。

8月16日と17日、神奈川県藤沢市で開催された同大会（全国から39チームが参加）で、市内の中学生を中心に結成されたビーチバレーチームが、全国でベスト8に入る活躍を見せてくれました。

出場した生徒は「とても難しかったけど、皆で声を掛け合い、すごく楽しかったです」と話しました。



子どもたちの交流ができました

兵庫県の広田幼稚園の皆さんが、たちばな保育園の園児らと交流し、志布志の自然を満喫しました。

7月29日から8月1日までの4日間、兵庫県の広田幼稚園から先生と園児合わせて52人が志布志市を訪れ、たちばな保育園の園児と交流しました。

今回で7回目となる両園の交流では、川遊びなどの自然とのふれあいの他、体操や楽器演奏、レスリングなどを通じて交流を深めました。

山形研修が20周年を迎えました

平成6年から続く相互交流事業で、山形県酒田市から9人の小学生が志布志市を訪れました。

8月1日から4日までの間、20年目を迎えた山形県との相互交流事業で、山形県酒田市9名、志布志市9名の小・中学生が交流研修を行いました。

研修では「志布志の歴史学習」や「かるかん作り」などを通して互いの友情を深め、思い出に残る賑やかな交流となりました。



サッカーフェスティバル開催！

第19回志布志みなとサッカーフェスティバルが開催され、多くの高校生が汗を流しました。

8月1日から12日の間、志布志総合運動公園陸上競技場他で同大会が開催され、県内外から114校の高校が参加し、熱戦を繰り広げました。

同大会はスポーツに対する意識の高揚と、サッカー技術の向上・発展を図り、各高校間の親睦を深めることを目的に開催されています。

地域のリーダーを育成 in 南薩

志布志市子ども会育成連絡協議会が主催する、インリーダー研修を実施しました。

8月6日と7日、南薩少年自然の家で、様々な体験活動を通して地域のリーダーを育成することを目的にインリーダー研修が実施されました。

研修に参加した児童・生徒からは「みんなで協力して何かをやりとげる事の楽しさ、素晴らしさを学ぶことができた」との声が聞かれました。

